

<学校名> 草加市立高砂小学校  
<所在地> 草加市中央1丁目2-5  
<電話> 048-924-3425  
<本事例の特徴>

本校は、5・6年生の外国語を専科教員が担当している。单元ごとに身に付けさせたい表現を使った発表会（発表テスト）を行っている。担任も参観し、コメントを送ることで、児童の励みになっている。

#### <具体的な取組や成果>

- どの单元においても、身に付けさせたい表現に焦点を当て、スモールステップで進めることで、簡単だ！という意識をもたせる。
- 担任と密に連絡を取り合い、児童の実態について情報共有する。



- 発表テスト前のペア練習時には、担任と一緒に見て回り、称賛することで、自信をもって発表できた。
- グループごとにALT、専科、担任がついて一人ひとりの発表を確認し、称賛して自信をもたせた。



自分の調べたい国や有名な食べ物・建物・人物についてタブレットを用いて調べた。それをみんなの前で発表することで、達成感があったようだ。「次はいつ発表ありますか。」「この単元の覚えた方がいい表現はどれですか。」など振り返りノートに記述する児童が増えた。